

【令和6年度】第2回「医療機関に所属する救急救命士に対する研修の講師となる人材のための講習会」

質疑応答集

No.	質問内容	回答内容
1	<p>現在は採血できないが、今後できるようになる動きはありますでしょうか。</p>	<p>現在は採血ができないとのことでその通りですが、今後できるようになるかという議論は現状はなされていないかと思えます。この点については厚生労働省の決定となっておりますので、今後の議論となると思えます。</p>
2	<p>気管挿管についての質問です。</p> <p>マックグラスを使用し、直視下で挿管を行うことは、救急救命士法上認められないでしょうか。</p>	<p>ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いて直視下で気管挿管を行うことは、法令上可能です。そのため、マックグラスの使用についても可能です。</p> <p>しかし、マックグラスは構造上、直視で見る事を想定された作りではないため、添付文書に則った使用を薦めます。</p> <p>なお、実施に際しては、所属施設の救急救命処置に関する委員会において取り決められた方法によって実施してください。</p>
3	<p>どのくらいの人数からドクターカー業務や転院搬送業務をやり始めましたでしょうか。</p>	<p>院内での救急救命士の雇用人数として、1人でも可能だと思いますし、人数にはよらないかと思えます。</p> <p>例として、おそらく転院搬送業務だけであれば、2～3名いれば日勤帯の勤務が可能だと思います。ただし、勤務の関係上、24時間となるとまた変わります。また、ERを見ながら転院業務を行う場合は、2名が抜けても問題のない体制かつ、24時間勤務となると6～7名程度必要かと思えます。ただし、日中の転院業務のみの場合、ERを24時間見ながら転院業務を行う場合、24時間転院業務を行う場合では大きく変わるため、ケースバイケースになると思えます。</p>